科目ナンバリング	U-LAS25 20003 SJ48						
授業科目名 <英訳>	イタリア語IIＢ I2152 Italian IIB			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　霜田　洋祐		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金3	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業では、初級文法を学習し終えた学生を対象として、比較的高度なイタリア語の文章の講読をおこなう。様々なジャンルのイタリア語テクストを編んだ講読用教科書を読みながら、イタリアの文学・文化・歴史等に触れ、イタリア語を読解するための技術を学ぶ。必要に応じて文法事項も細かく確認する。辞書を頼りに、自力でイタリア語の比較的高度なレベルの文章をも理解できるようになることを目指している。

＊昨年度のイタリア語I（4Hコース）を受けた者、あるいはそれと同レベルの学習を行なった者を対象とする授業です。イタリア語文法を学び終えていない者は、自分で文法を学ぶことが履修の条件となります。

[到達目標]

辞書の正しい引き方を覚え、文法についての知識と理解を深め、それらを頼りに自力で比較的高度なレベルのイタリア語の文章を理解できるようになる。
イタリア語の文章を正しい発音で読むことができる。
イタリアの文学、歴史、社会等にかんする知識を得る。

[授業計画と内容]

前期に読まなかったテクストのうち、難易度星2つ以上のものを読む。

第1回：授業の内容の説明をした後、最初のテクスト（「フェラガモとアメリカ Salvatore Ferragamo, le sue scarpe nel mondo」）の訳読をはじめる。
第2-14回：短いものは1-2回、長いものは3回ほどの授業で1つのテクストを読み終わる予定で進む。テクストの選択・順番は、参加者の様子を見て判断し指示する。教科書のテクスト以外にこちらで用意した短編小説などを読むこともある（プリント配布）。
《期末試験》
第15回：フィードバック（答案を返却して講評を行い、今後さらに力をつけるのに役立つテクストの紹介などを行う）。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

授業への参加を重要視し、成績は、平常点50%と定期試験（筆記）50%の配分で評価する。
平常点は、予習（テクストの読解や文法解釈）の取り組みや発音などをチェックするので、必ず予習をし、できれば教科書付録の朗読音源を聞いてくること。
成績評価基準は、授業中にさらに詳しく説明する。

[教科書]

東京大学イタリア語教材編集委員会編 『PIAZZA [Text+CD]』（東京大学出版会）ISBN:4130821172
（前期と同じ教科書。）

イタリア語IIＢ I2152(2)へ続く↓↓↓

イタリア語IIＢ I2152(2)

教科書のテクストで足りない場合は、プリントを用意する。

[参考書等]

（参考書）
『伊和中辞典』（小学館）
辞書は必須。『プリーモ伊和辞典』（白水社）を購入済みの場合はそちらでも構わない。

[授業外学修（予習・復習）等]

辞書で語彙を調べ、指定された箇所を読んでくること。その場ですぐに和訳できればよく、きれいな「訳文」を用意する必要はない（用意しないほうがよい）。
どうしてもわからない文もあると思うが、その場合は意味不明な訳をつけて投げ出すのではなく、１年次の教科書・プリント等も参照しながら、何がどのようにわからないのか説明（主語が不明、動詞が見つからない、など）できる程度までは考え抜いてほしい。
また、教科書付録の朗読音源を聞き、音読の練習もした上で授業に臨むのが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは金曜2限です（事前に連絡してもらえると確実です）。気軽に相談に来てください。
ただ、授業内容に関する質問はなるべく授業中に受けたいと思います。遠慮なく積極的に質問してください。